

一般質問(要旨)
市政について問う

★…一問一答方式

- 1 安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)
①子育て支援について
②高齢者支援について
③障害者支援について
④立川駅周辺の環境整備について
- 2 伊藤 大輔 (民進党・市民フォーラム)
①まちの活力づくり
②リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックのライブサイト
③多文化共生
④公園管理
- 3 松本あきひろ (たちかわ自民党・安進会)
①立3・1・34号中央南北線南進仮称富士見橋について
②災害時に於ける組織体制について
③富士見町地域周辺のまちづくりについて
- 4 江口 元気 (たちかわ自民党・安進会) ★
①受動喫煙防止の取り組みについて
②基金について
③包括協定、広域連携、産官学連携について
④58街区について
⑤子ども未来センター、児童館のイベントについて
- 5 松本 まき(民進党・市民フォーラム)
①高齢者ドライバーと交通施策について
②柴崎町の子どもの居場所づくりについて
③シルバー人材センターの活動について
④立川タクロス内観光案内コーナーについて
- 6 若木 早苗 (日本共産党) ★
①砂川地域の雨水対策について
②砂川地域のまちづくりについて
- 7 中町 聡 (日本共産党) ★
①子どもの貧困の解決に向けた取り組みについて

- 8 谷山きょう子 (立川・生活者ネットワーク) ★
①西砂地区ゲリラ豪雨の再発防止対策を
②多摩川上流処理区(分流式雨水)の課題について
③長期不登校の人数増加から、学校教育のサポート事業には民間事業者との連携を
- 9 高口 靖彦(公明党) ★
①超高齢社会を安心して暮らしていくために
②障がいのある人もない人も暮らしやすいまちを目指して
③子ども達の国際交流の後押しを
- 10 福島 正美(公明党) ★
①子どもたちの遊び場について
②観光バス発着場の整備について
③市道1級5号線(やすらぎ通り)の無電柱化について
- 11 永元 須摩子(日本共産党) ★
①健やかな子どもの成長のために
②高齢者や若者の住宅の確保について
③学校の設備の改修について
- 12 瀬 順弘(公明党) ★
①行政評価について
②学童保育所について
③文化芸術の振興について
- 13 太田 光久(民進党・市民フォーラム)
①これからの自治体文化政策について
②介護保険制度について
③障がい者対策について
④まちづくりについて
⑤空き家対策について
⑥競輪事業について
- 14 山本 みちよ(公明党) ★
①住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりについて
②地域防災力の向上を目指して
③がん教育について
- 15 浅川 修一(日本共産党) ★
①財政問題について
②三多摩格差解消について
③これからの多摩地域の自治体支援で東京都の果たすべき役割について
④まちづくりについて

- 16 上條 彰一(日本共産党) ★
①防災対策の強化について
②交通対策について
③学校給食について
- 17 木原 宏 (たちかわ自民党・安進会) ★
①持続可能な財政運営に向けて
②学校施設の設備の更新について
③中山ひと美 (たちかわ自民党・安進会)
①まちづくりについて
②教育行政について
- 18 門倉 正子(公明党) ★
①妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援をめざして
②がん対策の充実を
③西砂地域の雨水対策について
- 20 佐藤 寿宏 (たちかわ自民党・安進会)
①検診について
②予防について
③医療費について
- 21 大沢 純一(公明党) ★
①若い世代の定住促進について
②自殺対策について
③市営住宅の今後のあり方について
- 22 稲橋ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク) ★
①子どもたちの個性を応援する発達支援・教育について
②大規模改修を実施する陸上競技場は未来のレガシーとなるのか?
③高齢化社会における「コミュニティバスのあり方
- 23 大沢 豊 (緑たちかわ) ★
①空き家空き室問題について
②大雨の対策について
③谷戸沢処分場での太陽光発電事業について

一問一答方式とは

案件に対する疑問点をひとつずつ取り上げ、回数制限なく質疑、答弁を繰り返す方法です。

○議長、副議長及び監査委員は、その職務の性格上、一般質問を行っていません。

外国籍の子どもたちの見守り支援を

関係部署で情報を共有し、課題等を検討

伊藤 大輔 (民進党・市民フォーラム)



問

学校現場では言葉、出身国などが多様化する中、多文化共生を進めるには、違いを受容し支援しなければなりません。外国籍の子どもや家庭に関する情報は、災害時の児童引き渡し、病気や怪我などの緊急時だけでなく、いじめにつなげるためにも、教育委員会と学校の連携方法を改善するとともに、地域でのコミュニケーションの難しさなど国籍や文化を起因とする課題解決に向け、総合的な見守りや支援に取り組むべきだと考えます。

答

11月1日現在、小学生76人、中学生36人の外国籍の子どもが在籍しておりますが、日本の教育制度や地域に対する理解が十分でないため、指導に当たり配慮すべき点があるのも事実です。学校への通訳協力員の派遣やPTAや自治会等地域の団体と協力して、地域に早くなじむよう努めています。庁内で情報を共有する会議を設けており、その中で外国籍の家庭を見守りの対象とすべきかどうかなどを検討したいと考えています。

立川駅西地下道の整備を

地下水排水改善工事、塗装工事等を実施

安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)



問

新自由通路やタクロスなど、JR立川駅周辺の整備が進む中、取り残されているのが西地下道です。ここは南口、諏訪通りと北口をつなぐ大切な場所ですが、長雨が続く日常的に壁から地下水が流れ、路面はいつも湿って、天井は塗装の成分がちららのように垂れ下がるなどしています。市民が安全・安心に通行できるよう全面改修をすることで、駅周辺のさらなる活性化となると考えますが、見解を伺います。

答

西地下道の老朽化対策については、平成28年12月から平成29年4月末までの予定で地下水排水改善工事、塗装工事、照明のLED化工事等を実施します。地下水排水改善工事はJR東日本、その他の工事は、立川駅北口西地区再開発組合が施工予定です。再開発組合が施工する工事の内容や規模等については、現在も協議中であり、再開発組合理事会の承認をもって決定となりますので、今後変更となる可能性があります。

将来世代に向けた基金の運用は

市税動向等を見据え、今後の積立目標を検討

江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)



問

将来世代に向けてよりよい財政状態でバトンを渡すため、基金の運用は、安定性・継続性が求められます。本年の財政調整基金は目標額を超え約81億円となりました。今後の方針として、いつまでにいくら貯めていくのでしょうか。また公共施設の更新が全体的な課題になってくると考えると、公共施設整備基金が今後より重要となるのではないのでしょうか。あわせて基金の取り崩しには、基準が必要と考えますが、見解を伺います。

答

平成27年度策定の行政経営計画に基づき、財政調整基金は標準財政規模の20%、公共施設整備基金も財政調整基金と同額の80億円を目標に平成31年度までに積み立てを行います。しかし、法人市民税の一部交付税原資化や少子高齢化による税収減などが想定されるため、平成29年度は市税動向やプライマリーバランスなどを勘案し、今後の積立目標額の上積みや取り崩し基準について検討してまいります。

立3・1・34号中央南北線南進、(仮称)富士見橋について

協議会等を通じ、国、都に早期の事業着手を要請

松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)



問

立3・1・34号中央南北線南進、(仮称)富士見橋の現状と、今後の展開についてお尋ねいたします。この道路は、都の第一次緊急輸送道路に位置づけられるなど重要な道路であり、速やかな整備が必要だと考えますが、市の見解を伺います。また、(仮称)富士見橋の早期事業化に向け、沿線8市で構成する多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会では、国や都へどのような働きかけを行っているのか、状況をお示しください。

答

立3・1・34号線(仮称)富士見橋は、都市計画道路の整備方針第四次事業計画の優先整備路線となっており、都は平成37年度までの事業着手を目標としています。災害対策の面からも、(仮称)富士見橋は早期事業着手が必要と考えており、市長会、多摩川架橋及び関連道路整備促進協議会等を通じ、国、都へ要請を行いました。また同協議会においては、平成28年8月に国土交通大臣に直接要望書を提出しました。